

# 魅力だより

- ◆最上教育事務所「魅力ある学校づくり調査研究事業」通信第4号
- ◆令和2年9月10日（木）
- ◆最上教育事務所 指導課

## 第2回最上地区いじめ不登校未然防止協議会

令和2年9月1日（火）  
会場：最上総合支庁 講堂



文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官  
国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官  
浅見 哲也 氏からの指導・助言

### ★ 道德教育は「道德性を養う」ことが目標である

- ・「学校教育目標の具現化」や「目指す子ども像の具体化」を図ることがポイントである。

### ★ いじめ防止対策推進法でも「道德教育等の充実」が掲げられている

- ・すべての教育活動を通じた道德教育及び体験活動等の充実を図らなければならない。
- ・例えば、「相互理解、寛容」の内容項目では、「違う考えでもよく聞いて、相手の立場を考えよう」という指導が考えられる。
- ・「いじめの防止につながっている」という意識を持って指導を行っていくことが大切である。

### ★ 道德科における「主体的・対話的で深い学び」の5つのポイント

- 1 問題意識をもつ。
- 2 自分との関わりで捉えて考える。
- 3 多面的・多角的に考える。
- 4 自らを振り返る。
- 5 自己の（人間としての）生き方についての考えを深める。



### ★ 道德科の授業構想

- ・教材の確認＝年間指導計画を見て、その時期に扱う教材を確認する。
- ・内容項目の確認＝その教材で学ぶ内容項目を年間指導計画を見て確認する。
- ・児童生徒の実態の確認＝授業のねらい等は実態を受けて、授業者が決める。特別に配慮を要する児童生徒には、その実態を把握し、どのような授業ならできそうかを優先して考えること。



### 5つのポイント

- 1 児童生徒に考えさせたいこと、気付かせたいことを検討する。
- 2 話合いの中心となる場面と発問を検討する。
- 3 話合いの中心の前後で考えさせることを検討する。
- 4 導入と終末で行うことを検討する。
- 5 学習指導過程や指導方法の工夫を検討する。

教師として指導の明確な意図を持とう！

## 参加者の感想

- ◆ いじめ不登校を未然に防ぐために道徳教育や道徳の授業を意図的・計画的に行うことが大切であることを改めて理解しました。また、授業づくりのポイントについても詳しく教えていただき、何よりも児童の実態を一番に考えていきたいと思いました。

(小学校教諭)



- ◆ 道徳の授業について、時間をかけて考察する機会がありませんでした。また、どのように授業をつくっていけばよいかを講義を通して知ることができたので、実践していきたいと思います。充実した研修になりました。(小学校教諭)

- ◆ 道徳の授業づくりにおいて、どのように授業を組み立てていけばいいのかを改めて学ぶことができました。普段の授業で生徒に深く考えさせるために、自分の授業で何が足りなかったのかが分かりました。もう一度、浅見先生から教えていただいたことを心にとめて日々の授業を頑張りたいです。(中学校教諭)



- ◆ いじめの未然防止のためにも道徳教育の意義と重要性を再確認できました。特に、道徳科の授業づくりの基本を丁寧に御指導していただき、もう一度原点に立ち返って、人格形成を図る学校の役割を再認識しました。(教育委員会)

# 「考え、議論する」ことを通して、児童生徒の道徳性を養おう！

## 今後の予定



### ◆ 第2回ワーキンググループ

日時：令和2年10月23日（金）  
14：00～

場所：最上総合支庁

講師：大阪成蹊短期大学 中野澄教授

### ◆ 第3回ワーキンググループ

日時：令和3年1月14日（木）  
14：00～

場所：最上総合支庁

講師：国立教育政策研究所 小野憲総括研究官

## スライバック

### 心にとどめたい言葉#2

国立教育政策研究所

小野 憲 総括研究官

【令和元年7月29日】



- ★ 「魅力ある学校づくり調査研究事業」のコンセプトの一つは、「子どもの声を聞いてプランの改善を図ったり、教職員で話し合ったりすること」である！「子どもの声を聞くこと」が、自分たちの取組を振り返ることになる！
- ★ 未然防止の取組は「個別支援」ではなく、「集団指導」である！
- ★ 小中連携は、何かを一緒にすることだけではなく、その前段階も大事にすること！

